

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム北のゆめ

作成日: 平成 24 年 11 月 22 日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は家族、民生委員、町内会、市役所、消防、警察、高齢者支援センター、職員が参加して年6回実施している。最近に参加意識を高めるため、また出席者にも益となる時間にするを目的に外部講師を招き講演も行うことが多い。	運営推進会議を報告や講演にとどまらず、事業所の悩みの解決に知恵を貸してもらいなどの方法で、活発な話し合いを促し、事業所のサービス向上のため会議の活用を図る工夫をする。	会議中の現状報告の時間にホームの抱えている課題や悩みを発表し、参加者より意見、助言を求める。	次回、会議から
2	35	火災を想定した訓練は毎年2～3回、消防署の協力も得て実施してきている。しかし地震等の自然災害についての対策が不十分である。火災以外の災害に対する具体的な対策の検討を行っていく必要がある。	地震が起きた時の対応を市と相談・連携しながら具体的にまとめて、職員間で徹底する。及びその「対応指針」を運営推進会議を通じて地域に理解してもらう。地域との協力体制を今後も継続して築いていく。	地震時対応のマニュアルを作成する。地震時を想定した避難訓練の実施。必要備品や備蓄品をリストアップし、優先順位をつけ順次購入、準備し保管する。	3ヶ月以内
3	2	町内会の総会や清掃に参加したり、散歩時に挨拶を交わし、お庭を見せてもらう、野菜をいただくなど交流ができていますが、地域の中にある事業所として、地域に認知症や介護の問題への理解を深めるため発信力を高める必要がある。	認知症介護や医療、福祉についての問題の理解、啓蒙を目的に地域の発信元の役割を担う。現在、職員や運営推進会議参加者向けに外部講師を招いて行っている講演会を広く地域住民にも開放する。	一般の地域住民向けにも認知症介護や福祉、医療分野の講演の企画をし、参加を呼びかける。	1年以内
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。